

が ん ば れ 園 田 苑

第 126 号

2017 年 11 月

風 話 鈴 香

発行所
尼崎市小中島 1-1-18
社会福祉法人
阪神共同福祉会 園田苑
TEL 06-6493-3731
発行責任者
理事長 中村 大蔵

私 達 の 目 指 す も の

- 一、 地域に開かれた施設
 - 二、 入居者、家族、施設、地域のみんなで作る福祉を！
 - 三、 老人と共に生きがいを見い出す生活を
- 社会福祉法人 阪神共同福祉会 園田苑

「地域に開かれ みんなで作る福祉を」

昨年12月に入職し、初めての周年行事でした。2階では来賓や地域の方々がたくさんお見えになって、ハーモニカや三線（サンシン）の演奏、琉球舞踊などを楽しみ、とても盛大な宴でした。

3階はまた雰囲気の違い、モニター画面で2階の様子が流れる中、入居者の皆さんがご家族と共に普段とは違う食事を楽しまれており、入居者の皆さんの楽しんでもらえる姿を見ることが出来て良かったです。



この29年間、ボランティアグループ「園」の皆さん、役員、入居者のご家族の皆さん、地域の皆さんが園田苑を支えて下さっていたから、今回の華やかな行事の成功に至ったのだらうと思えました。

初めての周年行事で、私自身は担当者として名を連ねているだけでしたが、事前の会議にも参加させていただきましました。諸先輩方の、日常業務をこなしつつ、綿密な計画を立て準備をしていく姿を近くで見せて頂き、大変勉強になりました。

(特養 佐多 こずえ)

グループハウス周年行事

「朝の音色」について

9月30日 グループハウス19周年パーティーを行いました。

昨年は朝からの大雨で一日憂鬱な気分です。準備したことを思い出します。

そんな昨年とは一転して今年朝から晴天となり職員一同気合も入り、気分よく準備に取り掛かる事が出来ました。

尼崎市長、園田苑理事長をはじめ、ボランティア、たじかの園の先生、訪問看護師、子供食堂の方、ご近所の皆さん他。日頃グループハウスを支えてくださっている方々が駆け付けて下さいました。一緒にこの日を迎えられる大変嬉しく感謝しています。

入居者に新メンバー 荻野さん東さんと入居予定の堀さんが加わってとても賑やかになりました。出し物のウクレレボランティアの方々によるハワイアン演奏では、皆さん歌ったり踊ったりされていきました。

山口真央さんによる、メインの二胡の演奏は今まで聞いた事のない楽器の音色に皆さん魅了されていました。

料理はグループハウスの女性陣が腕をのりにかけて名物の土手焼きをはじめ、巻きずしやから揚げサンドイッチやオードブルなどたくさん用意しました。

さて来年は20周年を迎えます。これからの一年、更に充実したものにしよう入居者職員一同がんばって行きますのでご協力のほどよろしくお願いたします。(グループハウス 谷井 利彦)



老人の嫌がることをするな 老人に恥をかかすな 老人を泣かすな

理事長 中村大蔵

園田苑が開設されて間もない頃、夜勤者が朝の申し送りで「〇〇さん大失禁！」と報告したことがあった。

ケアスタッフとしていくら経験がないとはいえ、そんなことは問題ではない。しかも、それに対して誰も注意をしなかった。

同じようなことが今もあるのではないかと思う。ある入居者に「〇〇さん、パンツびしょ濡れよ」と廊下にまで聞こえる声があった。いくらなんでもこれはない。

相手に聞こえるかどうかの問題ではない。自分が言われたら嫌ではないかなどという以前の問題である。

常々、職員が老人に掛ける言葉、とりわけ職員と利用者と言いつ争っている時の職員の言葉にハツとすることがある。職員は注意をしているつもりなのだろうが、この言葉を録音して皆に聞いてもらいたいと思うことがある。「ア〜いやだ」。

園田苑開設以来、私が私に課したことは「老人の嫌がることをするな。老人に恥をかかすな」である。とりわけ、認知症が深まった人ほど恥をかかしてはならない。認知症が深まれば深まるほど五感研ぎ澄まされてくる。老人に恥をかかしてはならない。

そして、私の尊敬するリハビリの大家大田仁史さんは言う。「お年寄り子どもは泣かすな」と。それは何も声を出して泣くことだけを指してはいない。

防災研修

10月18日(水)、志築芳和さんを講師にお呼びして、防災研修を行いました。

今回は洪水や河川氾濫の水害でセンターが浸水したという想定で、階段を使い2階に上がる垂直移動の研修を行いました。

講義では、1人で運ぶ場合や2人で搬送する場
場合や、毛布と物干し竿
を利用した応急担架の
作り方など、安全にかつ
労力の少ない搬送方法
を学びました。搬送方法
などは緊急時だけでは
なく、介護の現場にも活
かせるものでした。

実際に垂直移動を行いました。事前にその人のADL状況や体格にあった「個別」の搬送方法を検討しておく必要があると思われました。



防災訓練

ハロウィンパーティー

10月26日(木)、善法寺保育園と小規模多機能園田苑合同のハロウィンパーティーを開催しました。初の試みでしたが、たくさんの方々の協力のおかげで当日を迎える事ができました。この場をお借りして、お礼を申し上げます。

保育園の園児9名と職員2名をお招きし、一緒にゲームをしたり歌を歌ったり、利用者の方とお話し、最後はお菓子をプレゼントして初のハロウィンパーティーは終わりました。

参加して下さった方全員が笑顔で楽しんでいらつしやつたので、企画して良かったと思えました。また、同じ法人内の保育園と園田苑がこれからもっと関わりを持っていくと感じました。

(小規模多機能型居宅介護)

辻本 麻美



小中島支部 文化祭

11月4日きらめきセンターへ作品を見に行ってきました。入居者・デイ利用者さんと毎月1回、ボランティアグループのメンバーさんと習字や塗り絵などを行っています。

習字の作品はもちろん、手編みのベストやセーターなど編み物の作品を熱心に見ておられた植西さん。いつも、顔を合わせると「姉ちゃん、なにかすることは無いの？暇やわ〜」と言われる野沢さん。出展した刺し子のふきんや習字の作品を見たり、顔なじみの皆さんとおしゃべりに花を咲かせる場面も。

「あ〜楽しかった。久しぶりに外へ出かけたわ。いっぱいしゃべって気が晴れたわ。」

(毎日朝、昼食後にロータリーのごみや落ち葉を掃除したり、ボランティアさんにはちよつかい？おしゃべり？を欠かしません。)

場所を変えるだけで気分も変わる。

「ちよつと出かれますよ」とお伝えすると「着替えるから待って」という乙女心も大事。「どこか行きたい、何かしたい」という声に応えつつも「どこに行きたいかな、何をしたいかな」と常にアンテナを張り、その機会を逃さないようにしていきたいと思えます。



ボートレース観戦

以前から「ボートレースに行きたいわ〜」と希望されていた入居者の方々とセンタープールに行ってきました。皆さん向かいの車中から興奮気味で(職員も含め)、初めてボートレースに行く私もわくわくしていました。

到着すると、お昼時だったのでまずは腹ごしらえ。カレーやおでん、たこ焼きなど競艇場グルメを満喫しました。皆さん、すごく美味しそうに食べられていました。若かりし頃、通っておられた当時も食べ

ておられたんでしょうか。

レースが始まると、皆さん食い入るように見ておられました。そんな皆さんの真剣な姿を初めて見ました。また機会があれば是非行きたいと思えました。(特養 長谷川 ちひろ)



「腰痛予防と体ほぐし」

11月7日小園中学校体育館をお借りし、阪神共同福祉会の法人研修を実施しました。

当法人の評議員で理学療法士の佐野一成さんを講師に善法寺保育園、南清水保育園、浜つばめ保育園、浜保育園、園田苑の職員が参加しました。

職業柄、腰痛や頸肩腕症候群で悩んでいる職員が多く、日ごろのストレッチや腰痛体操の積み重ねが大事とわかっていても継続は難しいです。座学や実技で学んだことを一つでも生活の中に取り入れて「自分自身が健康でいる」ことを目標にしたいと思います。

また、正しい介助については継続して学び、実践していくこと、入居者・利用者の尊厳をまもり、自立を支援する介助、やさしい移乗介助については継続して学べる機会を設け、実践できるようにしたいと考えています。



編集後記

引越して1年。バタバタしているから、と理由で落ち着いたらしようと思っていた片付けが未だに出来ていない。いつまでも初心を忘れませんように。(きりん)

我が家の最重要懸案事項は、つきたての餅を食べるために、全自動餅つき機を買うか、杵と石臼を買うか・・・。(ものぐさガエル)

朝晩とめつきり寒くなりました。これから冬がやってきます。

だるま体形の私は冬が得意のはずですが、年齢とともに寒さが身に覚えてきています。皆さま風邪などには気を付けてください。(だるま大使)

ワインが美味しい今日この頃。(ケンシロウ)

先日の台風で苑庭の皇帝ダリアが倒れ、「あー今年はきれいな花が見れないな」とあきらめていた時に「根っこは大丈夫だから起こしてみよう」と桜井さん。倒れても起こす、ダメでもやってみるその気持ちは園田苑のケアに通じる。気持ちを腐らせない。できないとあきらめない。私自身が園田苑(地域)で何がしたいと考えているのか。自分の頭の中でもやもやせず、具体的に外に発信していこう。(きんたろう)

(法人理念)

阪神共同福祉会は
すべての人の命を大切にし
地域福祉の担い手となる